

2 数学教員養成プログラム

数学（中学校1種、高等学校1種）

- 数学教員に必須の代数学、解析学、幾何学といった数学の専門科目を重点的に学びます。単に数学の知識を修得するだけでなく、数学の深い世界に触れ、その楽しさや面白さを自ら理解し、数学の魅力を伝える資質を磨きます。数学を学ぶと同時に、全人教育の理念を実践すべく、知識だけでなく全方位的にバランスのとれた教員を目指します。そのため、1年次の春学期から「解析学Ⅰ」を履修できるなどのカリキュラムの違いがあります。
- ダブル免許プログラムで、中学校・高等学校教諭に加えて小学校教諭2種免許状も併せて取得可能です（ダブル免許プログラムの利用には、入学後一定の成績を満たし、学部の選抜を経ることが条件となります。また通信課程で学ぶ諸費用が別途かかります）。
- 『教職課程受講ガイド』をよく読んで履修してください。

教職課程受講条件

第2 Semester 終了時	① 累積GPAが2.40以上であること ② 総合判断で、教職課程受講継続を許可されていること
第4 Semester 終了時	① 累積GPAが2.40以上であること ② 数学検定準1級の1次もしくは2次のどちらかに合格していること ③ 「代数学Ⅰ」「解析学Ⅰ」「解析学Ⅱ」すべてを修得していること ④ 総合判断で、教職課程受講継続を許可されていること
第6 Semester 終了時	① 下記科目をすべて履修していること 「教職概論」「教育原理」「学習・発達論」「数学科指導法Ⅰ」「数学科指導法Ⅱ」 ② 教育実習（事前指導）で「P」評価を得ていること ③ 総合判断で、教職課程受講継続を許可されていること

ただし、第2 Semester 終了時に教職課程を受講しなかった学生のうち、次の場合は第4 Semester 終了時に再判定を受けられます。

- ① 第4 Semester中に、教職担当に再判定希望を申し出る。
- ② 累積GPAが2.40以上であること
- ③ 数学検定準1級に合格していること
- ④ 「代数学Ⅰ」「解析学Ⅰ」「解析学Ⅱ」すべてを修得していること
- ⑤ 総合判断で、教職課程受講継続を許可されること

※ 2年次からの編入生は上記規定と異なる場合もあります（3年次以降からの編入生は教職課程受講不可）。